



引き札

引き札とは、現代のチラシやパンフレットにあたる広告の印刷物で、江戸時代後期から昭和初期に、商店が新年の挨拶や開店祝い、商品紹介のために、得意客や近隣住民に配っていたものです。まだ木版印刷の時代に、鮮やかな色刷りの印刷物は珍しく、また暦や郵便料金表など生活に役立つ情報を刷り込んだ引き札もあったことから、一年を通して室内の壁に貼られるなど、インテリアとして使われたこともありました。

引き札の基本的な様式は、商店名、取り扱い商品、住所などの基本情報に加え、正月用引き札であれば、祝賀文やめでたいものなどが記載されています。題材は七福神や福助など正月にふさわしい縁起物や、美人画、花鳥風月、店頭風景、歴史上の人物など様々でした。